

C-54 フレアー・スカートの地の目方向について
日本女大家政 ○茅沢昌子 樋口ゆき子

目的 フレアー・スカートのフレアーの出方を決定する要素には、素材の堅さ、織組織、織密度、フレアー分量、地の目方向、着装者の体型・・・・など、様々な要因が影響を及ぼし合って、フレアーをつくり出している。今回ほどのような地の目のとり方をすれば、より美しいフレアーを出すことが出来るか、地の目の角度を求めた。

方法 材料はシーチングとし、サンプルのデザインは4枚ほずとした。又地の目の角度は、たて地、20度、40度、45度、50度とした。人台と体型の違う2名の被験者に着装させ、フレアーの出方を写真判定、すそ線形状、フレアーの波高と振幅をみた。又これらは立体を平面的にとらえているので、フレアーの形状を立体的にとらえるためモアレ写真によっても判定した。

結果 人台着装によつては、写真、すそ線形状、モアレ写真については、40度が最もよく、振幅、波高については45度がよかった。又、実際に人台に着装させた場合をモアレ写真により判定した結果、厚みのある丸い体型の人には40度、厚みのない肋骨の張った人には、40度、45度がよい。